

平成26年度 六甲ゆりかご保育園事業報告

<職員配置>

役・職名	人数	役・職名	人数
園長	1	4・5歳児担当保育士	1
主任保育士	1	すこやか保育士	1
0歳児担当保育士	2	フリー保育士	1
1歳児担当保育士	2	保育補助	1
2歳児担当保育士	2	調理師	2
3歳児担当保育士	1	調理補助	1
合計		16	

<健診医>

内科医	椿田小児科
歯科医	みき矯正歯科
眼科医	片野眼科
耳鼻科医	杉本耳鼻咽喉科

<苦情解決第三者委員>

苦情解決第三者委員	2名
-----------	----

<在園児童数>

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6(人)	10	10	11	11	12	60
4月	5	12	13	10	14	3	57
5月	6	12	13	10	13	3	57
6月	6	12	13	10	13	3	57
7月	6	12	13	10	13	3	57
8月	6	12	13	10	13	3	57
9月	6	12	13	10	13	3	57
10月	6	12	13	10	13	3	57
11月	6	12	13	11	14	3	59
12月	6	12	13	13	14	3	61
1月	6	12	13	13	14	3	61
2月	6	12	13	13	14	3	61
3月	6	12	13	13	14	3	61

<在園率>

	乳児	幼児	合計		乳児	幼児	合計
4月	115(%)	79.4	95	10月	119	76.4	95
5月	119	76.4	95	11月	119	82.3	98.3
6月	119	79.4	96.6	12月	119	88.2	101
7月	119	76.4	95	1月	119	88.2	101
8月	119	76.4	95	2月	119	88.2	101
9月	119	76.4	95	3月	119	88.2	101

＜特例保育・延長保育・一時保育受入数＞

	特例保育		延長保育		一時保育
	朝	夕	30分	1時間	(延べ人数)
4月	5	16	0	3	7
5月	6	19	0	3	9
6月	6	19	0	3	8
7月	6	19	0	3	9
8月	6	14	0	3	5
9月	8	19	0	3	13
10月	7	18	1	3	12
11月	7	18	1	3	15
12月	6	19	1	3	21
1月	6	19	1	3	7
2月	6	18	1	3	12
3月	6	18	2	3	12

＜行事＞

月	行事
4月	入園式 対面式 クラス懇談会
5月	親子遠足 歯科健康教室＜3～5歳児＞ お楽しみ食事会
6月	布引堰堤＜3～5歳児＞ 保育参観＜2～5歳児＞
7月	プール開き セタ お泊り保育＜5歳児＞
8月	
9月	子どもフェスタ＜4・5歳児＞
10月	運動会 王子動物園遠足 魚くんのふしぎ発見教室＜5歳児＞ 芋掘り＜4・5歳児＞ なだっこフェスティバル＜5歳児＞ 焼き芋大会
11月	市ヶ原散策＜4・5歳児＞ 消防訓練 収穫勤労感謝祭 制作展
12月	地域交流灘区愛のもちつき＜3～5歳児＞ キッズプラザ＜4・5歳児＞ クリスマス会
1月	もちつき スケート＜5歳児＞ よい子のつどい＜5歳児＞
2月	生活発表会 交通安全教室
3月	須磨海浜水族園遠足 卒園並進級式 お別れ会 布引ハーブ園散策＜4・5歳児＞

＜運動あそび＞

- ・フィールド・オブ・ゆうの先生による体育あそび・群れ遊び。
- ・3～5歳児（ほし・つき・にじ組）が参加し、月2回実施。

＜誕生日会＞

- ・毎月1回実施。 誕生月の保護者にも参加してもらい、希望で給食試食有

＜避難訓練＞

- ・毎月1回実施。
- ・火災、地震、不審者侵入、津波を想定し、園庭、室内、近隣の公園への避難訓練を行う。
- ・11月は灘消防署立会のもと、総合訓練を実施。

<健康診断>

健診日	健診名	対象児
5月21日(水)	春季内科健診(椿田小児科)	全園児
6月5日(木)	歯科健診(みき矯正歯科)	全園児
10月6日(月)	秋季内科健診(椿田小児科)	全園児
10月20日(月)	眼科健診(片野眼科)	4・5歳児
11月18日(火)	耳鼻科健診(杉本耳鼻咽喉科)	4・5歳児及び0・1歳児の問診票での該当者
12月8日(月)	歯科健診(みき矯正歯科)	4・5歳児

※4・5歳児は、毎週2回フッ化物洗口実施

<乳幼児子育て応援事業>

・親子の触れ合いや園の行事に参加してもらうことで体験の機会を持てるようにする。

園庭開放／毎週水・木曜日実施

<安全管理>

P	D	C	A
保障体制を整える	・日本スポーツ振興センター、プレミアムサポート保険に加入する。	・日本スポーツ振興センターの利用なし。 ・プレミアムサポート保険の利用は4件あった。	・現在の保障体制を継続していく。
職員の事故防止意識を高める	・固定遊具は時期や時間によって使えるクラスを決める。 ・小さなことも見過ごさず子どもと職員の認識が同じになるよう遊び方の統一を図る。 ・職員が全員遊びこんでしまうことのないように一人は全体を見るなど役割分担を行う。	・固定遊具での事故、怪我はなかった。 ・砂を投げる・四輪車を猛スピードで漕ぐなどの行為がたまに見られた。 ・一方向から見ることもあり、見回りに隙が見られた。	・引き続き正しい使い方を伝えていく。 ・自分の体、友だちの体を傷つける遊びをしないように伝えていく。 ・経験のある職員が適切な助言を行っていく。
感染症の拡大を防ぐ	・嘔吐下痢症状の感染者が多く出た場合は、クラスごと隔離する等の措置をとる。 ・感染者が出た場合は、クラス別の感染者数を保護者に知らせ注意を促していく。	・1～3月にかけてインフルエンザが流行した。 ・感染状況を知らせることで、子どもの体調変化に気付いてもらえることができた。 ・夕方、ピューラックスで消毒を行った。	・保護者にクラス別発生状況を伝えることで、関心を持ってもらうと同時に早めの対策を心掛けてもらった。 ・感染症の出やすい時期も含めて、毎日行う。

薬の飲み間違いをしない	・与薬依頼書に必要事項を記入の上、薬と一緒に手渡ししてもらう。 ・薬を飲ませる際に、別の職員に確認してもらうことで、飲み間違いを防ぐ。	・飲み間違いはなかった。	・今後も継続していく。
アレルギー食対応児への誤食、誤飲をしない	・個別の名札を使い、配膳間違いを防ぐ。 ・食材表を確認してから配膳する。	・トレーでの配膳で間違いはなかった。	・今後も継続していく。
SIDSを防ぐ	・0歳児は5分毎、1歳児は15分毎、2歳児は30分毎に呼吸確認を行った。	・発症児はいなかった。 ・チェック表の記入漏れもなかった。	・今後も継続していく。

社会福祉法人ゆりかご 研修計画

	ねらい	OJT	OFF-JT
新人職員（～3年目）	○社会人としての自覚を促す。 ○職務に必要な基礎的知識・技能を習得する。	○法人理念、方針 ○個人情報保護 ○マナー（挨拶、電話、身だしなみ等） ○衛生管理 ○保育(給食)内容 ○各種書類の書き方 ○怪我への対処方法	○法人理念、方針(1) ○個人情報保護(2) ○保育園職員新人研修(3) ○衛生管理研修(4) ○小児救急法(5) ○食育研修(6) ○保育(給食)内容(7) ○エピペン取扱い研修(8) ○障害児保育に関する研修(10) ○乳児保育研修(12)
中堅職員（～概ね6年目）	○保育者としての専門性や実践的指導力を高める。	○新人の指導、育成 ○保護者対応 ○苦情対応 ○安全管理	○小児救急法(5) ○保育(給食)内容(7) ○エピペン取扱い研修(8) ○保育制度の研修(9) ○保護者支援(10) ○障害児保育に関する研修(11) ○乳児保育研修(12) ○保育大会への参加(13) ○子どもの権利に関する研修(21)
リーダー職員（概ね7年目以降）	○危機管理意識を持ち、保育者としてのリーダー性を高める。 ○園運営に参画する資質、能力の育成を図る。	○保育所保育指針 ○危機管理 ○中堅・新人の指導、育成 ○苦情受付・解決 ○施設運営 ○保育内容の見直し	○小児救急法(5) ○エピペン取扱い研修(8) ○保育の動向(14) ○危機管理(15) ○人材育成(16) ○苦情解決(17) ○メンタルヘルス(18) ○食中毒・感染症予防(19) ○リーダーシップ研修(20)

<研修参加>

担当/経験年数	研修名	主催	種別
0 歳児 2 年	・赤ちゃん学講座 ・美術教育がなくなると困りますか ・保育の中での子どもの権利条約	・神戸親和女子大学	12
		・私保連	7
		・私保連	21
0 歳児 2 年	・乳児の保育について ・子育てライフを支援する ・運動遊び講習会 ・保育実践研究 絵本・紙芝居を楽しもう ・保育環境と SIDS ・気になる子と言わない保育	・子ども家庭局	12
		・私保連	10
		・フィールド・オブ・ゆう	7
		・私保連	7
		・LSFA 乳幼児応急手当普及会	5
		・地域子育て応援プラザ灘	11
1 歳児 7 年	・困難な課題のある家庭・保護者への対応 ・感染症対策特別講座 ・エビペンの使い方研修 ・子育てに困難を抱える保護者へのまなざしと支援 ・子どもの権利を知る ・運動あそび講習会	・子ども家庭局	10
		・神戸市保健所	19
		・私保連	8
		・地域子育て応援プラザ灘	10
		・私保連	21
		・フィールド・オブ・ゆう	7
1 歳児 2 年	・保育園新任職員研修 ・質の高い自信を持った保育 ・赤十字短期講習「幼児安全法」 ・保育実践研究 絵本・紙芝居を楽しもう	・市民福祉大学	3
		・私保連	7
		・市民福祉大学	5
		・私保連	7
2 歳児 2 年	・子どもの気持ちに寄り添う ・乳幼児期の発達障害への気づきと支援 ・ペーパークラフト ・運動あそび講習会	・子ども家庭局	7
		・関西国際大学	12
		・私保連	7
		・フィールド・オブ・ゆう	7
2 歳児 2 年	・統合保育「保護者の理解と支援」 ・美術教育がなくなると困りますか ・乳幼児期の発達障害への気づきと支援 ・感染症について～嘔吐物処理・予防策他～ ・保育実践研究 絵本・紙芝居を楽しもう	・子ども家庭局	10
		・私保連	7
		・関西国際大学	12
		・灘区保健福祉部	4
		・私保連	7
3 歳児 2 年	・保育課程から指導計画へ ・質の高い自信を持った保育 ・子どもが育つ～遊びから読み取る～	・子ども家庭局	7
		・私保連	7
		・私保連	7
4.5 歳児 6 年	・障がいのある子ども・気になる子どもと過ごす ・フッ化物洗口について	・私保連	11
		・子ども家庭局	4
フリー 5 年	・絵本の楽しみ～こどもとともに～ ・運動会研修 ・異年齢保育で育つもの ・質の高い自信を持った保育 ・特別な配慮が必要な子どもの理解とその支援	・私保連	7
		・私保連	7
		・私保連	7
		・私保連	7
		・市民福祉大学	11

主任 11 年	・エビペン対応学習	・私保連	8
	・乳児の保育	・子ども家庭局	12
	・認定こども園移行について	・私保連	9
	・障がいがある子どもへの援助法	・私保連	11
	・保育所主任保育士研修会	・日保協	20
	・発達が気になる子どもへの理解と対応	・私保連	11
	・保育専門性の向上がなぜ言われるのか	・市保連	7
栄養士 2 年	・新任職員のためのサービスマナーセミナー	・私保連	3
	・保育園の食事提供の基本について	・私保連	7
	・シンプルに魚を楽しみましょう	・私保連	7
栄養士 9 年	・保育園における食物アレルギーへの対応について	・市民福祉大学	19

<園内にておこなった研修／全員参加>

園長が話をした事項	主任保育士が話をした事項
・法人理念、保育目標について ・個人情報の取り扱いについて ・ソーシャルメディア利用管理規定について ・マナー（挨拶、電話、身だしなみ等） ・保護者対応について	・保育内容、保育記録の書き方について ・怪我への対処方法 ・衛生管理について ・安全管理について

<PDCA>

P	D	C	A
・職務に関する事柄は経験のある職員が指導者となり教えていく。 ・保育士としての資質向上をはかる。 ・AED取扱い研修を行う。 ・CPRの研修を受ける。 ・エビペン取扱い研修を行う。	・クラスリーダー、乳児、幼児リーダーが主となって指導にあたる。 ・関係機関の研修へ参加する。 ・6月6日、6月13日にキャノンの増池氏による講習会を行う。 ・関係機関による研修に行く。 ・園長が受けた。	・保育を行う中でその都度指導があった。 ・経験に合わせて参加できなかったが、本人から参加したいとの申し出が少なかった。 ・2グループに分かれ、調理を除く全職員がAEDに関する受講ができた。 ・CPRの受講ができた。 ・職員会議で伝えた。	・今後も必要に応じて指導を継続していく。 ・課題を明確にし、自発的に参加しようとする意識改革を行っていく。 ・年1回のペースで次年度以降も行っていきたい。 ・次年度以降も全員が受けられるようにしたい。 ・次年度以降、実物を使って全員受けるようにしたい。